

## 書面質問一覧

事務局から各委員に対して、国の審査書等を配付して質問事項の提出を依頼したところ、5月22日までに事務局へ提出のあった質問事項は下表のとおり。

| No.    | 質問事項   | 提出   |
|--------|--|------|
| 規制基準関係 | <b>1 緊急時対策所と特重施設の役割について</b><br>特重施設は、炉心周辺の制御に特化し、全体をみる緊急時対策所と連携して安全を確保するというような理解でよいのか。   | 片山委員 |
|        | <b>2 想定する特定重大事故等の妥当性について</b><br>想定する特定重大事故等について、大型航空機で代表させていることの妥当性を教えて頂きたい。<br>故意による飛来物としては、様々なものが想定され、必ずしも大型航空機による衝突が最大の損害を及ぼす事象とは言えないようにも思います。<br>大型航空機以外の様々な飛来物を想定したシミュレーションと評価を求める必要はないでしょうか。       |      |
|        | <b>3 停止中の原子炉におけるテロ対策について</b><br>原子力規制委員会は、「再稼働」を目指す原子炉に対しては、大型航空機衝突による特定重大事故対応を求めておられます。一方、現在停止中の原子炉についても、停止中とは言え核燃料は保管されている訳ですから、テロの対象にならないとは言えないと考えます。<br>稼働中と定期点検中(停止中)の原子炉の「危険性」をどの程度と評価されているのでしょうか？ | 續委員  |
|        | <b>4 設置の猶予期間について</b><br>新規規制基準では、可搬型設備の設置などにより「故意による大型航空機衝突事故その他テロリズム」も想定した対応を整備することが求められているが、これによって特重施設の施設竣工前に一定期間のプラント運転が許容されたものと理解して良いか？  | 守田委員 |
|        | <b>5 猶予の根拠について</b><br>特重施設がない状態では「故意による大型航空機衝突事故その他テロリズム」に対する対応能力が異なると考えられるが、それにも関わらずプラント運転が許可された科学的な根拠は何か？  |      |
|        | <b>6 バックアップ設備としての考え方について</b><br>特重施設がその他の重大事故等対処設備のバックアップであるなら、その他の重大事故等対処設備(主として可搬型設備の活用)は、「故意による大型航空機衝突事故その他テロリズム」に全て対応できるような機能を有していると考えているのか？   |      |

| No.        | 質問事項  | 提出   |
|------------|---|------|
| 非公開情報      | 7 <b>非公開情報について</b><br>核物質防護上等の観点から公開出来ない情報が多いとのことだが、その範囲は具体的にどのように定められているのか。  | 守田委員 |
|            | 8 大型航空機衝突事故時の想定されるプラント状態が非公開なのは何故か。   |      |
|            | 9 大型航空機衝突事故時の想定される事故シーケンスが非公開なのは何故か。  |      |
|            | 10 大型航空機衝突事故時の対応手順が非公開なのは何故か。   |      |
| テロ対策関係     | 11 <b>我が国の重大事故対策の特徴について</b><br>想定を上回る自然災害やテロ攻撃などに備えた特重施設を含む我が国の重大事故対策は、設備対応を中心とする欧州の「Hardened Core」や人的要因や可搬型設備を含めた米国の「FLEX」等と比べてどのような特徴を持っていると考えているのか？  | 守田委員 |
|            | 12 日本の重大事故対策が欧米のそれとは異なるのであれば、そのような特徴をもたせた理由についてご教示いただきたい。   |      |
|            | 13 <b>テロ対策について</b><br>危険な思想を持つ人物を敷地内に立ち入らせないことは当然重要だが、もともと立ち入る資格を持つ人物が、その後危険な思想を持つということも考えられる。<br>このような想定に対して、国は事業者に何らかの対策を求めているのか。   | 片山委員 |
| 事故対策評価結果関係 | 14 <b>事故時の Cs-137 放出量の評価について</b><br>事故時の Cs-137 放出量の評価値が 7 日間で約 8.8TBq と評価されている。これは再稼働前の新規制基準への適合性審査時の評価値(約 4.5TBq)とは異なる結果となっている。<br>事故に伴うプラント状態や事故シーケンス等が非公開なので評価値を比較することは出来ないが、特重施設が設置された状態で、再稼働前の新規制基準への適合性審査時の事故シーケンスを再度評価した場合、どのような結果が予想されるのか。 | 守田委員 |
|            | 15 <b>設備の性能レベルについて</b><br>新規設備の基本設計は非公開とのことだが、フィルタベントなど国外で実績のある設備と比較して、どのようなレベルのものが設置されるのか。(同等なのか、それ以上の性能なのか。)  |      |

| No.        | 質問事項   | 提出       |
|------------|--|----------|
| 事故対策評価結果関係 | 16 <b>安全性の向上について</b><br><p>詳細な内容が分からない中で、我々は「安全性が向上する」ことをどのようにして確認できるのか。特重の設置が安全性向上になることについて、できる範囲でその「考え方」を示していただきたい。</p>  | 守田<br>委員 |
|            | 17 <b>審査結果のレビューの有無について</b><br><p>仮に、我々が「安全性の向上」を確認できない場合、将来、第三者機関によって国の審査結果に対してレビューなどを行うことは考えていないのか。(例えば国際機関によるレビューを受けるといったことはないのか)</p>  |          |
|            | 18 <b>長時間に及ぶ火災評価について(施設の強度)</b><br><p>航空機燃料等の火災時には相当な高温になると聞いている。<br/> 高温下では鋼材の強度は劣化し、比較的長時間の火災時には9・11における高層ビルのように全体的な崩壊も考えられるが、対象とする建屋の構造が分からないので、少なくともこのようなシミュレーションを行ったのかどうか、回答いただきたい。</p>   | 井嶋<br>委員 |
|            | 19 <b>テロ情報など緊急情報への対応について(マニュアル等)</b><br><p>テロやハイジャックなどの緊急情報を把握した際の対応について、対応方法(マニュアル等)が構築されているのか、教えていただきたい。</p>   |          |
| 地質調査関係     | 20 <b>f-113 断層の活動性について</b><br><p>f-113 断層は、その方向性から城山南断層、水縄断層帯に連なる断層のように見えます。さらに、これらの断層の方向と左横ずれ断層の動きは福岡西方沖地震が発生した警固断層と同じようです。<br/> ボーリングやトレンチ調査の他に、f-113 断層付近における微小地震の活動状況なども活動性の評価に必要ではと考えます。<br/> また、今後においても同様の観察が必要ではないかと考えますが、御意見を伺いたい。</p> | 井嶋<br>委員 |
|            | 21 <b>地盤の変位、支持、変形のための2次元動的解析について</b><br><p>炉心を通る3つの断面についてのみの2次元解析によって地盤の安定性を評価されています。<br/> 2次元解析であれば、断層における滑り等、最も不利な断面を定めて行うべきと考えますが、九電が行われた3つの断面のみについての判断で十分と言えるでしょうか。<br/> もう一点は、入力地震動は水平動とともに上下動も当然用いられているものと思いますが、明記されていないので質問いたします。</p>   |          |

| No. | 質問事項   | 提出   |
|-----|--|------|
| 22  | <p>V-1.2 地震による損傷防止の1．耐震設計方針について</p> <p>機能維持等の方針のなかで、多様性ある対策を講じると定められていますが、九電の解答は白抜きです。どのような耐震対策を行っているかは公開できないのでしょうか。</p> | 井嶋委員 |

地質調査関係